

瀬戸内タウンミーティング（今城地区）

平成 21 年 10 月 30 日（金）19 時～21 時

今城コミュニティセンター 大会議室

参加者：男性 13 人、女性 2 人、計 15 人

市民から出た意見と市長の反応

- ・ 障害者への福祉について。社会福祉協議会から福祉事業を来年 2 月で終了するという通知がきた。民間のサービスを受けるように、とのこと。障害の程度によってはヘルパーさんが 2 人必要な人も居るが、ヘルパーさんが少ないこともあって民間のサービスは利用しづらい。

特に障害のある子を持つ親としては施設にお世話になるのではなく、在宅で介護したいという思いがある。ハコモノではなく、人的な支援がほしい。

- ・（サービス停止は）決まっていることではあるが、市から補助金を出していることから、社会福祉協議会への補助金を上乘せして福祉事業を続けさせることはできないか。
- ・ 福祉サービスの停止について、地域代表の評議員で会議に出ていたが、障害者への配慮に関する説明が無かったように思う。今日初めて困っている人の声を聞いた。申し訳なく思う。
- ・ 現場の声を理解していない人が会議で決めたような印象がある。市として弱者の意見を聞いてほしい。

（市長）社会福祉協議会のサービスがなくなる、という話については批判の声を他の人からもいただいている。高齢者と障害者と、サービスを分けて考える必要があると思う。サービス停止に伴う影響を考え、代替で必要なサービスがあるなら考えていきたい。具体的にはまだ煮詰まっていないので、担当部と考える時間をいただきたい。

社会福祉協議会の決定を覆せるか、ということについては言えないが、意見を伝えていく。

- ・ 社会福祉協議会のふれあいサロン補助金について。補助金の支出について不透明感があるので市の情報公開条例に基づき情報公開請求をしたが、「社会福祉協議会は民間の団体なので市の条例に束縛されない」という理由で公開してもらえなかった。また、今城地区のふれあいサロンの数が今年度から減らされたが、減った理由について「審査ミス」といっていた。市からの補助金をカットしてもらいたい。

(市長) 社会福祉協議会は民間ではあるが、半公共的団体であると認識している。補助金の支出については当然公平性、公正性、透明性が求められる。

市は補助金を支出している団体に対して「財政援助団体への監査」ができる。今後、社会福祉協議会とは補助金を出す段階で事業の内容などを聞かせてもらい、連絡を取り合っていきたい。

- ・Uターンして5年になる。30年後の将来像とは言うものの、今でもできていくべきこともあると思う。また、現在まったくできていないというわけでもないと思うが、市はどの程度のレベルまで引き上げていきたいと思っているのかを示してほしい。

(市長) 市には、現在数値目標を示していない計画がある。今回は基本計画部分に数字で出せる指標を示し、現在値と目標値を示す。また、数値目標だけが一人歩きして、目標を達成したけれど市がよくなっていない、ということが起こっている。何のための目標かを明確にした数値目標を示していく。

- ・「攻めの自治体経営」とは具体的にどうすることを示しているのか。計画の進め方について具体的に聞きたい。
- ・計画を進めるにあたって、お金の問題がある。財源についてはめりはりが必要と思うので、我慢すべきところは市民にはっきりと言うべきだと思う。

(市長) 今、私自身が国や県に出向いて「こういうことをしたい」と話をして、新しい糸口を見つけようとしている。また、副市長への期待もある。国の役人とのパイプを持っていることから、国から直接情報をもらい、じっくり考える時間をもらうことができると思っている。

税収を上げるために「ふるさと納税」を多くの人にしていただく仕組みをつくりたい。役所が言ってもなかなかしてもらえないが、市民一人一人が子や孫に言える仕組みを来年に向けてやっていきたい。

従来、行政の縦割りの隙間にあった問題について優先順位を上げて取り組むことにしている。現在、組織横断的な課題として、例えば「ひとりひとりの子どもを伸ばす教育」とか「塩田跡地の問題」など5つについて「戦略会議」を開く準備を進めている。メンバーには市の関係する部門のほか、有識者を招いて取り組むこととしている。1年や2年でできることではないが、早めに手をつけておきつつ、緊急課題に取り組みたい。

- ・戦略会議について、国や学者もメンバーとしては大事だが、地域の人材の知恵や経験も取り込んで活用してほしい。昨年12月に協働のシンポジウムを手作りで行った。時間はかかったが、いい経験になった。

(市長) 専門知識を持った市民にはぜひ入っていただきたいと考えている。しかるべきタイミングで協力をお願いしたい。

- ・人口が増えているが、大富駅前や今城地区内の道路が狭いままである。これ以上宅地開発が進んで手をつけられなくなる前に、大富駅の将来像を描いてほしい。

(市長) 大富駅や道路については地元と協議をして将来像を考えたい。

- ・職員の評価について。優秀な職員は自ら学びに行き、研鑽を積んでいる。努力している職員を評価できるようにしてほしい。

(市長) そろそろ来年度の人事について考えなくてはいけない時期にきている。自ら学ぶ人をみつけて評価する制度をつくらないと、と思っている。「何に取り組みたいのか」やる気を聞ける場を作りたい。研修については市長ができる研修、副市長ができる研修もあるが、職員が講師となって互いに教えあう、学びあう組織づくりが必要と考えている。これまでの経験上、組織を変えるには3年はかかると思うが、早めに手をつけていきたい。

(日下市議) 多く意見が出た社会福祉協議会については情報公開が必要と思う。トップダウンでの行政指導も必要かと思う。また、今必要なこととしては舗装道路全てで水溜りができないようにして、快適に使えるようにしてほしい。

(市長) できるところから手をつけていきたい。